

★岩手県における障がい者雇用事例★

有限会社 三 寿 司

《平成 21 年度岩手県知事表彰》

「 ～障がいを理解し共に働き成長する会社の実現に向けて～ 」



- ◆ 事業所所在地 盛岡市菜園2-5-3
- ◆ 事業内容 寿司製造、販売業
- ◆ 従業員数 67名（パート含む）
うち障がい者数 7名
(障がい種別：知的障がい7名、うち重度1名)

◆ 障がい者雇用の経緯、背景

昭和37年に開業した有限会社三寿司の障がい者雇用の歴史は長く、創業以来、お客様だけではなく、社会的にも喜ばれる会社作りを進め、その中で障がい者雇用にも積極的に取り組んできました。創業者である先代の社長さんが、盛岡市内の知的障がい者入所更生施設からの紹介で知的障がい者1名を雇用したのをきっかけに、現在では、三寿司総本店で知的障がい者を6名雇用しているほか、大通支店でも1名の知的障がい者を雇用しています。

◆ 障がい者が従事している具体的な作業内容や配置など、障がい者雇用に関して工夫していること

雇用している障がい者は全員知的障がい者ですが、それぞれこなすことのできる作業から始め、少しずつ作業の幅を広げていけるよう上司や周りのひとがサポートしており、その結果、出前の配達のほか、シャリ炊きや魚をさばくことなど寿司店では欠かすことのできない大切な仕事を任せられるようになっています。

(有)三寿司の柳社長は、「当社で雇用している者は、皆、一様に真面目なんです。もちろん、最初は仕事を覚えてもらうまでに苦労はありましたが、彼らは、与えられた仕事をきちんと丁寧にしてくれます。寿司屋では、寿司を握る職人の裏で、彼らのような裏方さんが欠かせません。会社としては、彼らを大切な戦力として考えていますし、彼らの真面目でひたむきに仕事に取り組む姿勢は、私や他の従業員にも良い影響を与えてくれています。」とこやかに話していました。

◆ 障がい者が雇用されるために必要なこと、雇用を継続していくうえでの課題

柳社長は、「周りのひとが「理解してあげる」ことが最も大切です。作業能力には個人差がありますし、各々の個性や特徴がありますから、それらに配慮して、お互いお店を盛り上げていくよう努めています。

また、当社の場合は定着率が高く、勤続年数が10年以上の者が多く働いていますが、今後は高齢化に伴い仕事ができなくなる人も出てくると思います。こういった人に対する受け皿の確保が、今後の課題ではないかと思えます。」と話していました。

◆ 就労を希望している障がい者へのメッセージ

「真面目に頑張っている人を、ちゃんと周囲の人は見ていますし、私自身、真面目にひたむきに頑張っている皆さんを応援しています。皆さんの「働きたい」「働き続けたい」という強い気持ちを、私たちは真剣に受け止め、少しでも力になればと思っています。」(柳社長)

(取材：雇用対策・労働室)

作業風景



包丁さばきも手慣れたものです



シャリ炊きも毎日行っています



取材に応じてくださる柳社長